

(裏)

道路と効用を兼ねる主要な他の工作物の概要

道路一体建物の概要

軌道その他主要な占用物件の概要

その他特記すべき事項

調製（改訂）の年月日

H26. 3. 14（H25. 4. 1時点）

第二表

実 延 長 調 査

区間	幅 員 (m)				延 長 (m)					累計延長 (m)	路面の 種 類	備 考	
	車道	歩道	分離帯	路肩	道路	トンネル	橋	渡船施設	計				
										28,380	28,380	As	重用
1	5.50	L	—	—	1.00	2,125		3		2,128	30,508	As	
		R	—		1.00								
2	6.50	L	—	—	1.50	300				300	30,808	As	
		R	—		1.50								
3	5.50	L	—	—	1.00	83		3		86	30,894	As	
		R	—		1.00								
4	6.50	L	—	—	1.50	360				360	31,254	As	
		R	—		1.50								
5	5.50	L	—	—	1.00	281		7		288	31,542	As	
		R	—		1.00								
6	6.00	L	—	—	1.25	269				269	31,811	As	
		R	—		1.25								
7	6.50	L	—	—	1.50	270				270	32,081	As	
		R	—		1.50								
8	5.50	L	—	—	1.00	106		24		130	32,211	As	
		R	—		1.00								
9	6.50	L	—	—	1.50	1,621		170		1,791	34,002	As	
		R	—		1.50								
10	5.50	L	—	—	1.00	6,930	390	264		7,584	41,586	As	
		R	—		1.00								
11	5.50	L	—	—	0.75	1,302				1,302	42,888	As	
		R	—		0.75								
12	5.50	L	—	—	0.50	60				60	42,948	As	
		R	—		0.50								
13	5.50	L	—	—	0.75	290				290	43,238	As	
		R	—		0.75								

註 備考欄には、自動車交通不能その他道路の管理上必要な事項を記載すること。

第二表

実 延 長 調 査

区 間	幅 員 (m)				延 長 (m)					累計延長 (m)	路面の 種 類	備 考
	車 道	歩 道	分離帯	路 肩	道 路	トンネル	橋	渡船施設	計			
14	5.50	L — R —	—	1.00 1.00	194		20		214	43,452	As	
15	6.50	L — R —	—	1.50 1.50	1,582	578	121		2,281	45,733	As	
16	5.50	L — R —	—	1.00 1.00	1,801		7		1,808	47,541	As	
17	6.50	L — R —	—	1.50 1.50	190				190	47,731	As	
18	5.50	L — R —	—	1.00 1.00	1,136		4		1,140	48,871	As	
19	6.00	L — R —	—	1.25 1.25	470				470	49,341	As	
20	5.50	L — R —	—	1.00 1.00	4,468				4,468	53,339	As	
21	5.50	L — R —	—	1.00 1.00	1,840		48		1,888	55,227	As	
22	6.50	L — R 2.50	—	1.50 1.50	3,793		87		3,880	59,107	As	
23	6.50	L 4.50 R 4.50	—	2.25 2.25	1,221		74		1,295	60,402	As	
									25	60,427		重用
整					50				50	60,477		現況図延長との調整
									28,405			
合計					30,742	968	832	0	32,542			

註 備考欄には、自動車交通不能その他道路の管理上必要な事項を記載すること。

第三表

トンネル調査

図面 対照 番号	名 称	箇 所	延 長 (m)	構 造										建 設 年 次	備 考
				幅 員 (m)			有 効 高 (m)	こ う 拱	側 壁	排 水 施 設	照 設	明 備			
				車 道	歩 道	路 肩									
35, 25	雲石トンネル	八雲町熊大石谷	390.0	6.0	右 一 左 一	0.50×2	4.5	Co	Co	—	ナリウム (77)	S41.			
	ピリカベツトンネル	八雲町鉛川	578.0	6.5	右 - 左 -	0.50×2	4.7	Co	Co	—	ナリウム (173)	H15.8	管査路 0.75×2		
合 計	2件		968.0												

註 備考の欄には、トンネルの保全の状況その他トンネルの管理上必要な事項を記載すること。

第四表

橋 調 査

図面 対照 番号	名 称	箇 所	延長 (m)	幅 員 (m)			面積	橋 種 及 び 型 式		建設 年次	耐荷 荷重	現況	備 考	
				車道	歩道	路 肩								
35, 34	鮎溜橋	八雲町熊鮎石川	3.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	函渠工	S46.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 32	清水橋	八雲町熊鮎石川	3.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	RC床版橋	S47.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 32	岩渕橋	八雲町熊鮎石川	7.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	管渠工	S46.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 31	冷水橋	八雲町熊鮎石川	24.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	プレテンPC床版桁	H11.	25	安全	
					R	—			下部	逆T式				
35, 29	如月橋	八雲町熊大石谷	170.0	6.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	5径間連続鋼鉄桁 4@33.8+33.95	H 8.12	25	安全	
					R	—			下部	A～逆T式 P～柱式 深礎杭				
35, 29	弥生橋	八雲町熊大石谷	190.0	6.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	4径間連続鋼鉄桁 4@43.5+15.0	H 9.12	25	安全	
					R	—			下部	A～逆T式 P～柱式 深礎杭				
35, 29	文月橋	八雲町熊大石谷	6.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	管渠工	S49.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 28	雲石橋	八雲町熊大石谷	68.0	5.50	L	—	0.25 × 2	—	上部	H桁	S41.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 20	清流橋	八雲町鉛川	20.0	5.50	L	—	0.25 × 2	—	上部	RC床版桁	S35.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 18	ピリカベツ橋	八雲町鉛川	49.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	I桁 (非合成)	H14.2	25	安全	
					R	—			下部	RC逆T式 (直接基礎) 壁式橋脚 (RC)				
35, 17	日暮橋	八雲町鉛川	72.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	I桁 (非合成)	H13.2	25	安全	
					R	—			下部	RC逆T式 (直接基礎) 壁式橋脚 (RC)				
35, 16	遭遇橋	八雲町鉛川	7.0	5.50	L	—	1.25 × 2	—	上部	RC床版桁	S47.	20	安全	
					R	—			下部	—				

註 1 耐荷荷重の欄には、一車線当りの通行することができる最大車両の総重量を記載すること。

2 現況の欄には、自動車交通不能又は荷重制限に関する事項を記載すること。

3 備考の欄には、橋の保全の状況その他橋の管理上必要な事項を記載すること。

第四表

橋 調 査

図面 対照 番号	名 称	箇 所	延長 (m)	幅 員 (m)			面積	橋 種 及 び 型 式		建設 年次	耐荷 荷重	現況	備 考
				車道	歩道	路 肩							
35, 14	滝見橋	八雲町鉛川	4.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	RC床版桁	S45.	20	安全
					R	—			下部	—			
35, 13	西保橋	八雲町鉛川	40.0	5.50	L	—	0.25 × 2	—	上部	RC床版桁	S37.	20	安全
					R	—			下部	Co重力式			
35, 12	狩場橋	八雲町鉛川	4.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	RC床版橋	S46.	20	安全
					R	—			下部	—			
35, 11	大貫橋	八雲町鉛川	4.0	5.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	RC床版橋	S46.	20	安全
					R	—			下部	—			
35, 6	清流建岩橋	八雲町立岩	74.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	2径間連続鋼鈑桁 L=2@36.5	H 3.11	20	安全
					R	2.50			下部	RC逆T式			
36, 5	宮前橋	八雲町立岩	13.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	プレテンPCスラブ桁	H 6.3	25	安全
					R	2.50			下部	RC逆T式			
合計	18件		758.0										

註 1 耐荷荷重の欄には、一車線当りの通行することができる最大車両の総重量を記載すること。
 2 現況の欄には、自動車交通不能又は荷重制限に関する事項を記載すること。
 3 備考の欄には、橋の保全の状況その他橋の管理上必要な事項を記載すること。

第五表

鉄道等との交差調書

図面对照番号	箇所	鉄道又は新設軌道の名称	交差の方式	延長(m)	幅員(m)	有効高又は交差角度	備考
36,1	立岩こ線橋	J R 函館本線	立体交差跨線橋	74.0	6.5	—	
合計		1件		74.0			

註 1 有効高又は交差角度の欄には、立体交差にあっては有効高、平面交差にあっては交差角度を記載すること。
 2 備考の欄には、踏切道における保安設備の状況その他鉄道等との交差に関し道路の管理上必要な事項を記載すること。